



OSP Growth Plan



Neo Package



New Market



Novel Method



for SDGs

OSPグループは、4つの新たな“変革”に取り組みます!



フィルムから紙への置き換え“ペーパーアテンション”

紙素材なのにフィルム素材と同等の機能性!

フィルム素材を使用せずに紙素材で作ったアテンションPOPです。フィルム素材のように透明感があり、貼り付け部の表記を隠さないことが最大の特長です。フィルム素材よりも安価でありながら同等のコシがあるのでピンツと立ちます。さらにプラスチックの過剰利用を抑えることができ、脱プラに繋がる製品です。



詳しくはHPへ

01 フィルムから“紙”への置き換え



ペーパーアテンション 原紙

02 透明感があって“表記”を隠さない



03 フィルム同等の“コシ”がある



紙素材なのにピンツと立つ!

04 プラスチックの“過剰利用軽減”に



持続可能な未来のために、できることを

Action OSP!

製品・サービスについてのご相談やお問い合わせはOSPホームページから!

お見積りやご質問などの相談も、お気軽にお問い合わせください



お問い合わせフォームへ



プリオ「大阪の印刷」2023 3月号

2023年(令和5年)3月1日発行
第69巻 第3号 通巻第774号

発行所/大阪府印刷工業組合
大阪市都島区中野町4-4-2

発行人/浦久保康裕

電話06-6333-3000(代)

定価330円(税込)

PRINTING OF OSAKA

PRI・O

MARCH 2023

プリオ

No.774

印刷業の未来を拓く「超越経営者」の育成が急務

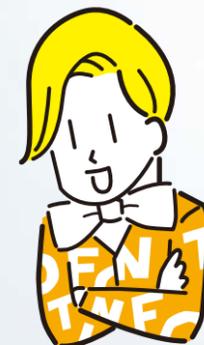
PRI・Oトップ対談 Vol.32 ゲスト 宝積 昌彦氏 株式会社GIMS 代表取締役

箔押しの世界

キラキラ & ピカピカ

詳しくは6・7ページへ!

豪華になりますね!



キラキラ大好き!



発行元(編集部)

大阪府印刷工業組合

〒534-0027 大阪市都島区中野町4-4-2

3
2023



Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントの
新しいサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー / 複数デバイスでの利用 / 簡単なフォントインストール

morisawafonts.com



記憶に残る活力のある 組合企業へ

大阪府印刷工業組合常務理事 地域共生委員長
レスター工業株式会社代表取締役

溝口剛司

近年、環境問題への意識の高まりから、「SDGs」＝持続可能な開発目標や、「カーボンニュートラル」＝炭素カーボンを主成分とする温室効果ガスの排出を差し引きゼロにする取り組み、といった用語を耳にすることが増えてきました。インキや紙は印刷業に欠かせないものですが、インキは石油を、紙は木を原料とするため、印刷による紙資源の浪費やインキ生成によるエネルギー消費などは、持続可能な社会の実現を遠ざけるものだという意見もあります。「SDGs」や「カーボンニュートラル」などの実現に向けて、企業は環境問題に対してどのような経営判断のもとで対処していくかという意思決定が、重要になっていきます。

印刷業界でも、デジタル化などによる資源節約への取り組みや、環境に優しい製品作りなどが加速していくでしょう。これからの未来がさらにデジタル社会へと変化していく中で、データ活用することを武器にアナログとデジタルの融合を図りながらお客様や同業者・ビジネスパートナーに対して情報の提供・共有をすることが、大事になってきました。目に見えない情報を形あるものに変換する印刷技術は、現代社会において必要不可欠なものとなっていました。WEBやインターネットの急速な発達により、印刷業界は存続できるかどうかの瀬戸際に立っており、各会社は生き残りをかけて大きな変化を迫られている時期に達していると思います。

顧客からの注文が入って製造する時代から、自ら受注を創出して製造する時代に転換する動きが高まっているように思います。

各社の生産性や収益性の向上が、顧客の向上に貢献し、お客様から信頼していただけの企業、お客様に満足だけでなく感動を提供する企業になっていくと思われれます。

…「記憶に残る活力のある組合企業へ」…

新たな価値創造への貢献こそが、印刷業界や印刷会社の発展進化につながるのではないかと考えます。組合のセミナーや勉強会、イベントを通じて、発展進化する印刷業界になるように、努力してまいります。組合の活動に、時間の許す限り、積極的なご参加をお待ちしております。

株式会社 GIMS 代表取締役

ほう づみ
寶積 昌彦

PRI・O
トップ対談

大阪府印刷工業組合 理事長

浦久保 康裕



「超越経営者」の育成が急務

印刷業の未来を拓く



昭和の時代は高度経済成長に支えられ誰も負けなかった「創業経営者の時代」、平成の時代はデフレ経済下で縮小を強いられた「継承経営者の時代」、そして先が見えない時代の令和の経営者は創業でもない、継承でもない新たな時代を切り拓いていく経営者像が必要になります。

先が見えない不安な時代だからこそ、経営者が何を発信し、どのように行動するかを社員・ステークホルダーは注視しています。

このように不確実な時代だからこそ、企業の背骨といえる理念やビジョンがより重要になります。

経営者の第一の仕事はこの理念やビジョンを示すことです。

そこで理念とビジョンを出発点に、これまでの事業モデルを再定義し、新たに業態変革を成し遂げる強い意志を持った次世代経営者の育成が急務です。

承継世代が「家業を継ぐ」ということが必ずしも従来の印刷業を守るのではなく、ベンチャースピリッツを持ち、「印刷+α」の実践を目指す経営者として成長を遂げていくサポートが今、求められています。

自社の強みを見つめなおし、「印刷+α」の新サービスへ

浦久保: 寶積さんは永年印刷業界を見てこられ、そして多くの印刷会社のコンサルティング業務に携わられました。コロナ禍という、かつてない経験をした我々印刷業界の現状を見て率直にどのような感想をお持ちでしょうか。

寶積: 永年と言われると恐縮ですが、私は1994(平成6)年にハマダ印刷機械株式会社(以下、ハマダ)に入社し、印刷機の修理やメンテナンスに携わったのが印刷に関わる原点となっています。まだ30年弱の経験となります。ご存じのとおりハマダの印刷機は小型の「軽オフ」がメインで、主な顧客は「3ちゃん企業」と呼ばれる家族経営の印刷会社がほとんどでした。

この頃を振り返りますと、まさに浦久保理事長から冒頭にあったようにデフレ経済下

で経営の縮小を強いられていたように思えます。長引くデフレ環境に加えて印刷のデジタル化が徐々に浸透し始めた時期で、1990(平成2)年に印刷会社の平均営業利益が6%前後(現在では1~2%)から右肩下がりになっていき、仕事はあるがどんどん価格が下がっていく、そんな状況だったと記憶しています。

午後からの修理依頼でも、「その日のうちに何とかして欲しい」という要望が多く、中小零細の印刷会社はとにかく仕事が溢れていて忙しいという印象が強いです。故障したその日のうちに修理して夜中まで印刷機を回す、そんな生産力の時代で、安い金額でもいいから取り敢えず「仕事を回す」ことが優先されていたように思います。

平成も後半に入ると印刷のデジタル化が当たり前前の時代が到来し、「印刷の標準化」

が一気に進んだように思います。いわゆるジャパンカラーやISOなどが浸透して印刷物の工業製品化が進み、どの印刷機(印刷会社)で刷っても同レベルの印刷物が作られるようになりました。

印刷という本業で安定した利益が出せなくなり、印刷の標準化で他社との差別化が容易でなくなってきたように感じるのです。2013(平成25)年に全日本印刷工業組合連合会(以下、全印工連)が発刊した『印刷道』~ソリューションプロバイダーへの進化~にあるように、経営者が本気になって従来から保有している技術に、何らかの異分野・新分野の技術を加え、新たな市場ニーズに応え得る一歩進んだ技術やサービスを展開していかなければ、今後は生き残れないと思っています。

コロナ禍でも儲かっている印刷会社とは

浦久保: 3年以上続いたコロナ感染症の影響は日増しに和らぎつつありますが、生活様式の変容などもあり印刷の受注量が戻らないものも多くあります。コロナ禍以前と比較して印刷物というアナログからデジタルへのシフトはますます加速しているように思います。ウィズ・アフターコロナを見据えて、これから印刷業界はどのようになっていくべきだとお考えでしょうか。

寶積: 私は仕事柄、印刷会社の補助金申請のお手伝いをしていますので、印刷会社の決算資料を見る機会も多くあります。もちろん売上げが減少している企業が多いのですが、その中でもしっかりと業績を伸ばしている企業もあります。この差は何なのか?と考えると、コロナ禍という現状をチャンスと捉えているのか、収束するのをひたすら

待つのかの違いだと思っています。ものづくり補助金や事業再構築補助金など、公的支援を活用して時代の変化にいち早く対応できている企業がしっかりとした業績を確保しているように見受けられます。

これは印刷業界に限った話ではありません。先日、日本政策金融公庫の方が「このコロナ禍で経営力の差がはっきり出た」と話されていましたので。では経営力とは何かと申しますと、私は「構想力」だと思っています。言わずもがな構想力とは考えて組み立てる能力で、事業の発展のため、どの分野に資源を投入していくかという能力だと考えています。業態変革を3つの分野に分けますと、ひとつは垂直型になります。印刷だけを生業にしてきた企業が制作や企画まで自社で行ったり、製本・加工から発送まで手掛けたりする、今ある事業の上下に

展開していくケースです。2つめは水平型として、パッケージなど今まで扱っていなかった商品分野へチャレンジするケース。3つめは「飛び地型」と私は呼んでいます。紙以外のメディアへ展開するケースになります。しっかりとこの3つのどこに行くのか、経営者の構想力が試されるのだと思います。

ただし印刷会社の多くは規模が小さく、順調に事業承継が進んでいるとは言い難い。そうなるとやはり保守的な経営になり構想力も発揮されないというのが私の印象です。誰もが歳を取ればそうになってしまうのは人の常だと思えます。ただそれでは新陳代謝がうまく機能しなくなります。ウィズ・アフターコロナを見据えて、取り敢えず後継者に権限だけでも委譲するという決断が急務だと思います。

私たちが提供するものは工業製品? それとも工芸品?

浦久保: 2021年夏に全印工連から「INSATSU 未来トランスフォーメーション」が発刊されました。これは混迷の時代における印刷業の経営指針を示しています。その中で令和は「超越経営者の時代」だと定義されています。超越とはアップデートで本業、業種・業態の枠を超える。そして先代・先々代の「経営者の型」を超える。印刷業を継ぐのではなくベンチャースピリッツを持ち、「印刷+α」の価値を生み出し、次の時代を力強く切り拓く超越経営者の育成が急務だと考えています。今、お聞きした将来像を描くに当たり、これからの経営者にはどのような資質が必要で、その資質を身に付けていくためにはどのような学びが必要だとお考えでしょうか。

寶積: 印刷会社の事業承継がうまくいかないひとつに、自社の魅力や強みをきちんとプロモーションできていないことが挙げ

られます。自社の強みをひとことと言い表すことができない経営者がまだまだ多く、「菊全判の8色機が3台ある」なんて、自慢げに話されるご高齢の経営者もいるくらいです。きちんと自社の強みとは何なのか、存在意義などの「定義」をしっかり持つことがこれからの経営者に求められていると思います。

印刷の標準化で技術力の差がなくなったと冒頭で申し上げましたが、本当にそうなのか? 内側からでは見えにくい独自の技術力はどの会社でもお持ちなんです。企画・営業・制作・製造(品質管理)という一連の業務を外側から見て、こだわりや魅力を定義して発信すべきです。

東京の製本会社に就職希望者が殺到しているという話があります。この会社は糸かがりの製本を得意としていて、モノづくりへのこだわりをしっかりと発信されています。それを見た若者に糸かがり製本は「工芸

だという伝え方をしています。工業製品ではなく、工芸品だと。この違いは非常に大きい訳で、決して給料が高くないとどちらかというとキツイ仕事ですが、そこで働きたいという美術系の大学を出た学生たちが募ってやって来る。このことで会社規模としては大きくならないかもしれませんが、しっかりと経営を堅持することができるというもひとつの生き方かもしれません。

若い人たちが最近よく口にする「ソーシャルビジネス」がありますが、環境問題や貧困・福祉など、社会的・地域的課題の解決をビジネスとして成立させながら追求しようとする事業と自社の得意とする部分をどう掛け合わせるのか。それが「印刷+α」になるのではないのでしょうか。今までは豊かな暮らしを求めて高収入であったり福利厚生がしっかりした企業に人気がありましたが、この「豊かな暮らし」とは何なのか、価値観が変化しているように思うからです。

「印刷経営革新塾」2023年4月に始動

浦久保: 企業経営の基本は言うまでもなく「自助」であります。が、「共助」を担う事業組合としてこれからは次世代経営者の育成が最重要課題であり、業界独自の学びの場の提供とその中身が問われていくと思えます。寶積さんには2023年度から始まる「印刷経営革新塾」でコンサルファームとしてご指導いただきますが、今回の事業の意義と重要なポイントをどのようにお考えでしょうか。

寶積: まずは次世代を担う超越経営者に対して、自社の存在意義を定義することが必要だと思っています。これまでの自社の歴史を軸になぜこれまで存在してこられたのか? 印刷とは何なのか? 理念やビジョンをしっかりと作り上げながら事業モデルを再定義できればと思っています。絵にかいたような売上計画ではなく、「印刷+α」によってしっかりとした事業計画を作り上げていく。またご自身の働き甲斐やパーパスを絡めながら人生の分岐点になるような1年の経営塾になればと思っています。

浦久保: 先日、滝澤全印工連会長の代理で、仙台にて開催されました「令和4年度下期東北地区協議会」に参加しました。その会議内のプログラムで、公益財団法人文字・活字文化推進機構の専務理事の講演がありました。この団体は学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びを支え、守る活動をされています。そして学童期における紙の教科書や文字の持つ意味、大切さを訴えながら活字文化の振興を行っておられます。私たち印刷業も印刷が果たす役割や意味についてもっとアピールすべきだと痛感いたしました。

先の見えない不確実な時代だからこそ経営者が何を発信し、どのように行動するかを社員やステークホルダーは注視しています。つまり理念やビジョンがより重要になります。経営者の第一の仕事はこの理念やビジョンを示すことです。先ほどの製本会社の例のように「意味」、つまり何のために事業を行うのか、がとて重要で。以前はモノからコト、コトづくりと言われましたが今は「コト」が持つ意味、そしてその意味が地域や社会にとってどのような「意味」を持つかが問われています。今だけ、自分だけではなく、未来に向けたビジョンを持ち、その想いを社員が共有し、成長発展に向けてのトライ&エラーを社員と共に乗り越えていく全員経営こそがイノベーションの源泉です。理念とビジョンを出発点に、これまで

の事業モデルを再定義し、新たに業態変革を成し遂げる強い意志を持った次世代経営者の育成が急務です。

承継世代が「家業を継ぐ」ということが必ずしも従来の印刷業を守ることでなく、ベンチャースピリッツを持ち、印刷+αの実践を目指す経営者としての知見を広め同世代と切磋琢磨しながら成長を遂げていく、そして現役親世代が安心して事業承継を行える事業がこの4月からスタートする「印刷経営革新塾」です。次代を担う方々にぜひ参加いただき、超越経営者としてのスキルと覚悟を身につけていただきたいと思います。寶積さんには大変お世話になりますが最後までよろしく願いいたします。本日はお忙しいなか、ありがとうございました。



◎「印刷経営革新塾」WEB申込みはこちらからどうぞ▶



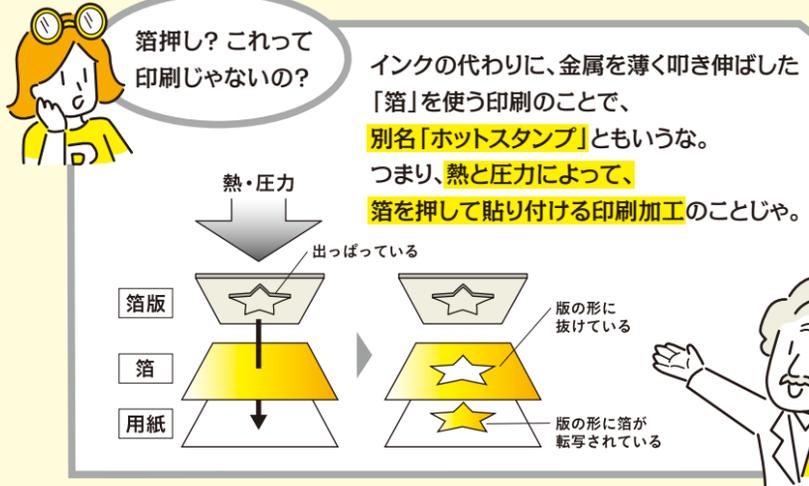
PROFILE

ほうづみ 寶積 昌彦

大学卒業後、小型オフセット印刷機メーカーのハマダ印刷機械(株)に入社し、営業・マーケティングの他、事業企画に従事。その後グラフィック印刷・軟包装製品製造の朋和産業(株)にて営業に従事。就業時に取得した中小企業診断士の資格を基に独立開業後、(株)GIMSに参加。現在に至る。
得意分野: 公的制度活用支援(補助金・計画作成)・営業強化・販路拡大・販売促進・プロモーション支援

このキラキラカード見て～
とってもレアなんだよ。

へえ～。いろんな色の箔押しを駆使しているんだね。



箔押しは紙だけでなく、木やプラスチック、布や皮革など、いろんな素材に押せるんだよ。

高級なうるしのお椀や重箱に金箔で模様をつけたものを見たことがあるかな。それが、箔押しの元となった技術じゃ。

明治から昭和の中頃までは結構手間のかかる方法で作業しておったから高級な書籍の装丁などに使われる程度じゃった。

ところがその後、フィルムに金属や接着剤などがコーティングされたメタリックホイルが開発されてから、箔押しはうんと身近なものになったのじゃ。

箔押しには一般的な金や銀の他にも、何十色ものバリエーションがありますよね。

複数の色が混ざりあって見る角度によって色が変わるホログラムやレインボー箔まで。

最近は押された箔の上にさらに色を乗せて印刷する技術も進化しており、細い線や点、グラデーションなどの繊細な表現もできるぞ。

私のカード、それだよ!

そういえば、確かギフト券や一万円札にもキラキラした印刷がしてあったけど…。

あれはなんにも豪華に見せるためじゃなく、難しい専門技術が必要なホログラム印刷を施すことで偽造を防止する目的があるんじゃ。

ところで博士、金属箔を押し付けてあるということは、箔押しされた印刷物はリサイクルできないんじゃないですか?

大丈夫。押された箔の部分は再生処理の工程で、溶けたり分別されたりするから再生紙に影響はないんじゃ。

あら、環境にもやさしいのね。みんなに教えてあげたらちょっとは私にも箔が付くかな。

さあ、どうだろうね～。

RMGT

ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
西日本支社 〒567-0865 大阪府茨木市横江2-20-43
TEL 072-655-0182 <https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

SCREEN

オンライン校正で働き方を変える!

Web ポータルシステム
EQUIOS Online

株式会社 SCREEN GP ジャパン 大阪支店 / 06(6531)0333
〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座二丁目1-1 大阪本町西第一ビルディング5階

AR付印刷ツールならNPCにお任せ!!

まずはARアプリ「あるぞうくん」を体験しよう!

STEP1 ダウンロードをします
STEP2 専用QRを読み込む
STEP3 スマホをかざす

株式会社 NPC コーポレーション URL: <https://www.naniwa.com>

大阪本社 大阪市北区天満1-9-19 Tel:06-6351-7271 Fax:06-6352-7479
東京支社 東京都港区新橋2-2-2 世田谷ビル6階 Tel:03-3433-5211 Fax:03-5776-7733
京都オフィス 京都市左京区田中下町1-5日の出ビル202号 Tel:075-706-6061 Fax:075-706-6063

機密文書 処理事業

内職事業

企画制作事業

用紙 販売事業

株式会社 シオサワ

〒577-0006 東大阪市橋根 3-5-34
TEL : 06-6745-4030 FAX : 06-6745-4040

FSC 10530086

CSR認定は“きっかけ”づくり

SDGs(持続可能な開発目標)やESG(環境、社会、企業統治)、CSR(企業の社会的責任)といった言葉を聞かない日はない昨今、企業は社会の一員として責任ある行動をとることが求められています。上場企業においてはこれらへの対応が上場基準に含まれるようになり、かつ上場企業自身のみならず調達先などを含めたサプライチェーン全体での対応が求められています。つまり、SDGsなどへの取り組みを行っていないと、仕事がなくなってしまう恐れも出てきています。

現に当社のあるお客様は、Sedex <<https://www.sedex.com/ja/>>というWEBツールを使ってすべての取引先が環境対応や労働安全衛生などの管

理状況について毎年報告を行うよう求めており、毎年フィードバックももらうようになっています。

ただ、何から手を付ければよいかわからない、何をしなければならないかわからない、という会社も多いと思います。そんな会社にお勧めしているのが「全印工連CSR認定制度」です。CSR認定制度では、環境や労務、情報セキュリティなど企業が社会的責任を果たすうえで「やるべきこと」がチェックリストとして用意されており、さらには具体的な対策案も提示されています。2022年12月時点で全国142社が認定を受けており、うち14社が大阪の組合員企業です。企業規模も大企業から従業員数名の会社まで幅広い企業が認定取

得を受けています。

当社でも2021年にCSR認定を取得しそれをきっかけに、太陽光発電の導入による温暖化効果ガスの排出削減に向けた取り組みの開始、発達障がいを持つ方の職場体験の受け入れ実施、デザイン専門学校生の工場見学の受け入れ、地域清掃の実施、環境配慮型事業の開発など多くの取り組みをスタートさせています。

CSR認定制度の詳細や、SDGs、CSRへの取り組みについてお困りのことがありましたらぜひ、各支部所属のCSR推進委員か組合事務局経由でCSR推進委員会までお問い合わせください。(報告/CSR推進委員長トキワ印刷(株) 渡辺貞城)



デザイン専門学校生の印刷会社見学受け入れ



地域清掃活動



太陽光発電導入による温暖化効果ガスの排出削減

印刷経営革新塾 開講 2023年4月スタート

大阪府印刷工業組合 令和5年度 経営トランスフォーム委員会主催

印刷経営革新塾について申し込みスタート!

大印工組初の経営塾
社長ではなく
「真の」
経営者に!

ビジョンと経営計画という海図と羅針盤を持ちリーダーシップの旅に出る

期 間	2023年4月～2024年3月まで 基本的に月1回2時間程度 但し、受講内容により土曜日に6時間程度。合宿は1泊2日での年2回実施。																																				
会 場	大阪印刷会館(4F大会議室) ※新型コロナウイルス感染拡大防止策を施して開催いたします。																																				
定 員	10名																																				
資格対象	次世代経営者および現経営者 (年齢20歳～49歳まで) 改めて学び直したいと考えるベテラン経営者 (但し、50歳以下)																																				
受講料	1人15万円 合宿交通費は各自負担 通常、外部の同様の経営塾はこの金額では受けられません!																																				
申込締切	2023年3月24日(金)																																				
講義日程・内容(予定)	<table border="1"> <tr> <td>2023</td> <td>4月22日(土)・23日(日)</td> <td>合宿(企業理念・ミッション・ビジョン・コアバリューの策定、決意表明など)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月26日(金)</td> <td>マーケティング</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月15日(木)</td> <td>マーケティング</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月13日(木)</td> <td>業態変革&新規事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月26日(土)</td> <td>業態変革&新規事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月13日(水)</td> <td>財務会計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月19日(木)</td> <td>財務会計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月(未定)</td> <td>合宿(ベンチマーク企業の見学(予定))</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月16日(土)</td> <td>人事組織</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>1月18日(木)</td> <td>トピックス(助成金、補助金の成功事例)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月15日(木)</td> <td>経営革新計画作成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月16日(土)</td> <td>経営革新計画作成</td> </tr> </table>	2023	4月22日(土)・23日(日)	合宿(企業理念・ミッション・ビジョン・コアバリューの策定、決意表明など)		5月26日(金)	マーケティング		6月15日(木)	マーケティング		7月13日(木)	業態変革&新規事業		8月26日(土)	業態変革&新規事業		9月13日(水)	財務会計		10月19日(木)	財務会計		11月(未定)	合宿(ベンチマーク企業の見学(予定))		12月16日(土)	人事組織	2024	1月18日(木)	トピックス(助成金、補助金の成功事例)		2月15日(木)	経営革新計画作成		3月16日(土)	経営革新計画作成
2023	4月22日(土)・23日(日)	合宿(企業理念・ミッション・ビジョン・コアバリューの策定、決意表明など)																																			
	5月26日(金)	マーケティング																																			
	6月15日(木)	マーケティング																																			
	7月13日(木)	業態変革&新規事業																																			
	8月26日(土)	業態変革&新規事業																																			
	9月13日(水)	財務会計																																			
	10月19日(木)	財務会計																																			
	11月(未定)	合宿(ベンチマーク企業の見学(予定))																																			
	12月16日(土)	人事組織																																			
2024	1月18日(木)	トピックス(助成金、補助金の成功事例)																																			
	2月15日(木)	経営革新計画作成																																			
	3月16日(土)	経営革新計画作成																																			
講師紹介(一部紹介)	印刷業界に特化するコンサル(株)GIMS、人と企業を応援する(有)オフィスウエダ、大阪大学大学院准教授 松下 隆氏、成長企業に導くガイド役 徳芳郎税理士など、他多数																																				
受講後のゴール	それぞれの企業における「価値創出(印刷+α)」を発見し、社員と共に「自社の成長戦略=経営計画書」の策定を目指します																																				
	<ul style="list-style-type: none"> ★自身の経営や自社の将来の在り方を見つめ直し、羅針盤となる「経営革新計画」を作成し、経営方針を策定出来るようになる。 ★今回のカリキュラムを受講する事により「社長」ではなく「経営者」となり、経営方針を社員と共有し全社員がベクトルを合わせられるようになる。 ★この印刷経営革新塾を通して、同世代の組合員同士、同じ目線で目標を持ち、相談できる組合内の次世代経営者のネットワーク、連帯感を醸成する。 																																				

WEB申込先 <https://forms.gle/KeAoD8xW8vk8Ch528>

左記QRコードよりアクセス頂けます。

FAX 申込先 FAX 06(6352)2360 大印工組 事務局宛 お問い合わせ TEL 06(6353)3035 info@osaka-pia.or.jp

●コピーして必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。後日、FAXにて参加証と請求書をご送付します。

貴社名	TEL	FAX
氏名	役職	e-mail

数字で見るペーパーサミット

1月14日(土)、大阪産業創造館にて第2回目となるペーパーサミットが開催されました。受付に長蛇の列が続いた第1回目の反省を踏まえ、今回はフロアを倍に拡大し事前登録制を導入したことで、来場者が1,000名を超える中でも大きな混乱も混雑もなく終始安定した落ち着いた雰囲気の中での開催となり、課題点はありますがイベントとして大成功に終わりました。その成功を支えた運営サイドが行った各施策とその成果を、数字を踏まえて振り返ってみました。



前回に比べ今回より力を入れたのが広報で、実施した内容は、1.プレスリリース 2.フライヤー配置 3.公式Instagramでの投稿 4.Webサイトの制作 5.Facebookページの作成 6.Instagram広告 7.PR TIMESでの発信 8.事前予約システムteket(テケト)の導入でした。

チケットの予約件数とメディア活用



- ・全体653人が1,100枚のチケットを予約。
- ・1/8~14日で501組、839枚(全体の76%)

施策を行うごとに、予約チケット数が伸びていることがこの表から見て取れます。

プレスリリースの結果、下記メディアに掲載されました。今回は受付での混乱をなくすため、テケトという事前予約アプリを導入し、1時間ごとの入場者数を200名に制限。前は当日になるまでどれほどの人が来るのか想像もできない状況から、今回は3週間前から来場者の推移を追いかけ、10日前の予約状況が振るわないことから、Instagram広告を実施、その後PR TIMESからプレスリリースが配信され、さらにYahoo!ニュースにも投稿され、一気に予約状況が増えました。

メディアの掲載日

日付	掲載メディア名	日付	掲載メディア名
1/5	Pjweb news様	1/10	NEWPRINET様
1/6	文具のとびら様	1/10	livedoorNEWS様
1/8	PR TIMES様	1/11	ストレートプレス様
1/8	GREE様	1/11	J-Net21様
1/8	niftyニュース様		
1/8	Mapionニュース様		
1/8	ORICON NEWS様		
1/8	印刷タイムス様		
1/10	Yahoo!ニュース様		
1/10	gooニュース様		
1/10	MdN様		
1/10	船場経済新聞様		
1/10	WorkMaster様		

みんなの経済新聞ネットワーク
→Yahoo!ニュースが火付け役になって一気に転載が加速。
Yahoo!ニュースは「話題になっているから掲載される」場所PR TIMESを使用していなかったとしたら、掲載されていない可能性が高い。



今回は公式ホームページを作り、SNSやプレスリリースにより公式ホームページへ流入させ、最終テケトに送客し事前

予約数を伸ばすという施策を行ったことで、数字でイベントを振り返ることができ、次回改善点が見えてくるという流れになりました。

チケットの予約数			
	予約数/販売数	入場者数/販売数	来場率
11:00~11:59	200/200	128/200	64%
12:00~12:59	200/200	112/200	56%
13:00~13:59	200/200	135/200	67.5%
14:00~14:59	200/200	137/200	68.5%
15:00~15:59	196/200	139/200	69.5%
16:00~16:59	75/200	48/75	64%
17:00~17:30	35/200	10/35	28.5%
合計	1,106/1,400	709/1,106	64.1%

1,500名の来場目標、予約からの来場率70%と仮定すると、2,143名の予約獲得が必要。16:00以降の予約率が下がるため、11:00~13:59を400件ずつ(1,200)、14:00~15:59を300件ずつ(計1,800)、16:00~17:30を200件ずつ(計2,200)の枠をつくる。

今回の反省点として、広報のスタートが遅く、紙系のメディアにはほぼ取り上げられず、フライヤーの完成も遅れたので、冬休みと重なり学生にもほぼリーチできなかったことです。

また今回初めて作ったフォトスポットの活用方法もSNSと絡めるなどもっと考える必要がありました。

次回は今回の反省点をしっかり改善し、より素晴らしいイベントとしていきたいと思ひます。

今後印刷業界においても、このようなデジタルを絡めた施策は必須で、紙やアナログと組み合わせることが必要とされます。ペーパーサミットを通して、非常に価値のある実験が印刷組合という組織でできたことを改めて素晴らしいことだと感じ、今後もこのイベントを継続しさまざまな実験や体験を組合員で共有できる仕組みとなれば良いと思ひます。

(報告/地域共生委員(有)サンクラール 矢田幸史)



大阪青年印刷人協議会主催 KICK OFF CONVENTION 2023 ～次世代技術活用を仲間と共に学び・体感する～



前列左より、近畿経済産業局 芝野氏／大青協 西岡議長／講師 三木氏／大印工組 浦久保理事長、山本副理事長、高本副理事長

ペーパーサミットと同日開催

2023年1月14日(土)、大阪青年印刷人協議会主催「キックオフコンベンション2023」・大阪府印刷工業組合主催「ペーパーサミット」が大阪産業創造館にて同日開催された。

今回は、講師に「zenschool メタバース」三木康司氏を迎え『メタバース活用の新時代 ～紙とメタバースの共存はありえるのか!?～』をテーマに掲げ、コロナ感染症防止対策に充分留意しつつリアル参加・メタバース(オンライン)参加のハイブリッド開催にて執り行われた。



会場風景

はじめに、大阪府印刷工業組合高本隆彦副理事長より来賓者代表としてご挨拶を頂戴し開会された。



講師の三木氏

メタバース活用の新時代

三木講師より印刷業界の現状・メタバースとは何か?・マーケットとビジネスの構造・メタバースの未来と課題・アフターメタバースの世界などの項目に沿っての講義が約90分執り行われ、メタバース自体の現在の存在価値・今後、発展していくであろうメタバースの将来価値についての説明に参加者が耳を傾けていた。

そして、デジタル空間市場の価値があがることによって、現実空間で使用されている印刷物が改めて価値を持つのではないかと考えられていた。

90分の講義終了後、三木氏への質疑応答時間となり、リアル参加者だけではなくメタバース(オンライン)参加者からも質問があり、活気のある質疑応答がなされていた。最後に主催者代表として大阪青年印刷人協議会 西岡天芳議長より閉会の挨拶を行った。

閉会后、一般開放をし、メタバース体験会を行い「ペーパーサミット」参加のご家族など、色々な方にメタバースの体験をしていただいた。

改めまして、今回の「キックオフコンベンション2023」にご参加・ご尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。

最後になりましたが、オンライン参加中の不具合によりご覧になれなかった講義につきましてはアーカイブにて配信させていただきます。

(報告/榎サンエス印刷所 松井和英)



メタバース(オンライン)会場風景

思い描く色に応え続けます。

大阪府品質管理推進認定企業
富士精版印刷株式会社

本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目4番33号 TEL. 06-6394-1181(代)
東京支店 〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町22番3号 TEL. 044-434-3070
市島工場 〒669-4342 兵庫県丹波市市島町矢代字才上377番1号 TEL. 0795-85-1488

<https://www.fujiseihan.co.jp>

DXを味方に。 お手伝いするのはモトヤ。

これからも、いつまでも、皆様と共に歩み続けるモトヤは、
モノづくりを超えた「コトづくり」のご提案を続けます。

印刷現場の環境改善を考える

環境対応資材

そして、環境対応資材のご提供と
人材サービスで、
SDGsのゴールの実現に
協力していきます。

— 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」への取り組み —

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M・JOB・N@VI

モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6358-9124
モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719
人材派遣業 派 27-030254 / 人材紹介業 27-ユ030174

印刷のソリューションプロバイダー

株式会社 モトヤ

大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町2-8 ☎(06)6358-9131(代)
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

Adviser's Room

顧問の部屋 労務 税務 法律

大印工組の顧問の先生方から有益情報をお届けします。



エイチ・アール・エム・オフィス
社会保険労務士法人

中尾 文彦



エイチ・アール・エム・オフィス
社会保険労務士法人

二宮 智

中小企業の割増賃金率の引上げ

月60時間を超える時間外労働の割増率が中小企業も50%に

時間外労働に対する割増賃金率は原則として25%ですが、月60時間を超える時間外労働に対しては50%の割増率で支払うことが大企業には義務付けられております。2023年4月からは中小企業についても月60時間を超える時間外労働に対する割増率が50%に引き上げられます。

これは2019年4月に実施された働き方改革において中小企業への適用が当面の間猶予されていたものですが、このたび、猶予期間を終え適用されることになったものです。

【中小企業の範囲(企業単位で判断)】

業種	資本金の額または出資の総額		常時使用する労働者数
小売業	5,000万円以下	または	50人以下
サービス業	5,000万円以下	または	100人以下
卸売業	1億円以下	または	100人以下
その他	3億円以下	または	300人以下

深夜労働との関係

月60時間を超える時間外労働を深夜時間帯(22時～翌5時)に行わせる場合、時間外割増率50%に深夜割増率25%を上乗せして(計75%)支払う必要があります。

(参考)厚生労働省 モデル就業規則について ※第40条(割増賃金)、第42条(代替休暇)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/zygyonushi/model/index.html

休日労働との関係

法定休日に行った労働は時間外労働時間の算定には含まれません。個別に集計し35%の割増率で割増賃金を支払います。

しかし法定休日以外の休日に行った労働は時間外労働に含まれます。そのため、通常的时间外労働と合算して月60時間を超えるかどうかの算定を行う必要があります。

代替休暇

引上げ分の割増賃金の代わりに有給の休暇(代替休暇)を付与する制度を設けることができます。例えば、時間外労働の割増率を原則25%、月60時間超は50%とする場合、「(その差の)25%×月60時間を超えた時間」分の休暇を付与することで月60時間超部分の割増率を25%とすることができます。

なお、代替休暇の導入には労使協定の締結が必要です。

就業規則の改定

月60時間を超える部分の割増率の引上げや代替休暇の導入を行う場合、必要に応じて就業規則の改定を行ってください。



Giving Shape to Ideas

ビジネス成功のため、
ハイスピードかつ高い利便性で
短納期を実現。価値を生み出す
高生産ワークフローを創造します。



TRUE FLAGSHIP MODELS
FOR HIGH-VOLUME PRODUCTION PRINTING
AccurioPress
C14000/C12000

● 3,600dpi相当×2,400dpiの高解像度出力
● 色変動を最小限に抑える画像安定化&補正技術
● 月間デューティサイクル250万枚

効率化 EFFICIENCY

● A4: 140ppm、A3: 80ppmの高速出力
● 最大14,140枚の給紙容量
● インライン四方断裁によるフルブリード出力

高生産性 HIGH PRODUCTIVITY

自動化 AUTOMATION

● 印刷前と印刷中の色管理・表裏見当調整
● 印刷中の品質管理
● 適した用紙種類設定を判別

GOOD DESIGN AWARD 2020年度受賞
AccurioPress C14000/C12000は2020年度グッドデザイン賞を受賞しました。

コニカミノルタ ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業5部

〒550-0005
大阪府大阪市西区西本町2-3-10
西本町インテスビル TEL.06-6110-0615

共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、
これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと
文化の発展に貢献します。





日本製紙株式会社
東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com

heart

抗菌・抗ウイルスの
名刺と封筒を
ご用意しています



対面での名刺交換、資料の手渡しや
郵送でも安心してお使いいただけます

詳しくは当社ホームページをご覧ください
印刷用のAg+マークもご用意しております

銀イオンのチカラで
細菌やウイルスの増殖を抑えます



印刷関連機械を売るなら" DAITSU" へ!!

遊休機械を現金にて高価買取致します!
買取が出来ない機械につきましても、ご希望にあわせて
処分も可能ですのでお気軽にご相談下さい。

《買取査定 対象機械》
オフセット印刷機 / シール印刷機 / フォーム印刷機
CTP / 断裁機 / 製本機 / トムソン機 / 製袋機 など

大通機械販売株式会社 〒577-0012
大阪府東大阪市長田東 2-1-33
TEL.06-6747-3561 FAX.06-6747-3591 MAIL:e-mail@daitso-m.co.jp

www.daitso-m.co.jp





事業報告

本部

大青協定例会
1月10日(火) 18:30~

新春会員交流大会
1月11日(水) 16:00~



広報渉外委員会
1月13日(金) 18:00~

大青協 Kick Off Convention 2023
1月14日(土) 14:00~



総務特別委員会
1月16日(月) 18:30~

経営トランスフォーム委員会
1月17日(火) 18:00~

ペーパーサミット 2023
1月14日(土) 11:00~



ブランディングセミナー
1月19日(木) 18:00~



事業承継委員会
1月20日(金) 18:00~

地域共生委員会
1月24日(火)

CSR推進委員会
1月24日(火) 18:00~

近印工新年代表者会議
1月26日(木) 18:00~



DTP作業技能検定実技試験
1月29日(日)



支部

東支部 新年会
1月20日(金)



大阪福島印刷工業会新年互礼会
1月20日(金)



天親支部 新年会
1月20日(金) 18:00~



事業報告

南親支部 新年会
1月21日(土) 10:30~



北支部 新年会
1月25日(水) 18:30~



東大阪支部 新年会
1月28日(土) 18:00~



摂陽支部 新年会
1月21日(土) 18:00~



東和支部 新年互礼会
1月27日(金) 18:30~



八尾南支部 新年会
2月4日(土) 12:30~



事業予定

本部

CSR推進委員会セミナー
3月1日(水)

ケース・メソッドを用いた体験型経営戦略セミナー
3月4日(土) 大阪産業創造館

広報渉外委員会
3月6日(月) 18:00~ 大阪印刷会館

総務特別委員会
3月7日(火) 18:30~ 大阪印刷会館

大青協定例会
3月7日(火) 18:30~ 大阪印刷会館

印刷経営革新塾説明会
3月8日(水) 18:00~ オンライン

印刷営業技能審査認定試験
3月10日(金) 13:00~ 大阪印刷会館

経営トランスフォーム委員会
3月14日(火) 18:00~ 大阪印刷会館

地域共生委員会
3月14日(火) 18:30~

事業承継委員会
3月15日(水) 18:00~ 大阪印刷会館

組織共済・支部サポート委員会
3月16日(木) 18:00~ 大阪印刷会館

理事会
3月22日(水) 14:30~ グランキューブ大阪

CSR推進委員会
3月23日(木) 18:00~ 大阪印刷会館

支部

北親支部 月例・役員会
3月9日(木) 11:30~ ホテル阪急インターナショナル春闘門

東和支部 大相撲観戦
3月18日(土) エディオンアリーナ大阪

八尾南支部 定例会
3月22日(水) 11:00~ 印刷団地会館

福島支部 三役会
3月23日(木)

東和支部 三役・役員会
3月24日(金) 18:30~ 支部事務局

※記載の事業予定については、変更もしくは中止になる場合があります。 ※開催場所・時間等の記載のないものは未定です。

INFORMATION

【代表者変更】

- (株)スミタ(東和支部)新社長に岡勇何氏が就任
- 秀野紙工(株)(福島支部)新社長に多田義人氏が就任

【訃報】

- 多田義昭氏(福島支部)秀野紙工(株) 代表者
2023年1月19日死去 72歳



印刷営業みらい塾

Vol.3 これからの印刷営業に必要なこと

他業種よりも高い難易度

印刷業界における新規受注案件は基本的にオーダーメイドのカタチをとるため、印刷営業の場合、他業種のように、既製の商品を持って回って売り込むということができません。

とはいえ、手ぶらで訪問することにも抵抗があり、自社の会社案内と共に、自社で手がけた印刷見本の中で見栄えのしそうなものや、セールストークを展開しやすいものを数点携えるのが定番の新規開拓営業スタイルではないでしょうか。

しかし、そのような従来型の営業スタイルは、いわゆる『モノ売り』の域を出ておらず、すでに時代遅れであり、良い反応や満足な結果を得ることは難しいでしょう。

なぜなら、訪問先の発注担当者の判断基準の『品質』『納期』『価格』のうち、品質と納期は、通念的にもはや保証して当然であり、そうなれば残る価格でしか、判断基準がない、というのが、おおもねの状況だからです。

印刷営業パーソンに足りないこと

現状の多くの印刷会社の営業パーソンに足りないのは、『学習(学ぶこと)』と『思考(考えること)』です。

ただし、これは、各個人の怠慢によって生み出されたものではなく、業界の在り方がそうさせてしまっている側面があると私は考えています。

事実、私がこれまでに会った主要得意先を任される印刷営業パーソンの方々は、常に多くの案件を抱えて時間に追われていました。そのため、会社が用意したセミナーや講演会も欠席しがちで、その結果、マネジメントに必要なスキルや知識を十分に習得できておらず、超が付くほどのベテランの域に達していても、矢面に立っている一兵卒といった方が多く見られました。

これは、やはり、仕事のできる者のところに仕事が集まる実状があるのですが、その解消を個人に委ねることには無理があり、会社として、対策を用意する必要があります。

実際、私の周りでも、過労で健康を害したり、将来を悲観して、残念ながら業界を去った方がおられました。

欠乏がもたらすもの

『学習』と『思考』の欠乏がもたらすのは、疲弊による衰退です。

常に学び、考えることにより、自身を鍛錬し、最善策を俊敏に講じ実行し続けられるコンディションを保ち続けなければ、予測不可能な事態や、加速するばかりの技術革新の荒波の中での無事な航海は、特に中小印刷会社にとっては、困難を極めるのではないのでしょうか。

そのためにも、営業パーソンの強化・鍛錬は急務です。学び、考えることが不足した結果、得意先から十分な利益をいただくことができなかつたり、手配や想定不足により、ミスやロスの散見される状況が続いたり、一方で、そういった事態を恐れてチャレンジしない弱気の営業パーソンが増えれば、永年築いてきた顧客との信頼関係は失われるでしょう。

印刷会社の『真の商品』

『不易流行』という言葉があります。これは『いつまでも変化しない本質的なものを忘れないなかにも、変化を重ねている新しいものをも取り入れていくこと』といった意味の言葉ですが、印刷営業パーソンが、コミュニケーションの効率化への貢献という使命を胸に刻み、企業や社会が抱えるコミュニケーションの問題を解決するという思考と視点を持ち続けた営業活動を展開する限り「印刷会社の『真の商品』は、営業パーソンである」と言っても過言ではないと思います。

そして、印刷会社の営業パーソンはもっと高く評価されるべきです。そのために、『学習』と『思考』のための時間を手に入れ、一方で、適正な評価制度のない印刷会社は、早急にそれを用意すべきではないでしょうか。

筆者プロフィール

高岩進一

印刷会社専門営業支援サービス P-FREE(ピーフリー) 代表
印刷会社6社、デザイン会社1社にて、計27年超の勤務経験あり。
印刷機オペレーター、グラフィックデザイナー、新規開拓専門営業、営業支援部門リーダー、役員(取締役営業部長、専務取締役)まで経験。

著名営業案内

(順不同)

田中手帳(株) 住之江区平林南 1-2-52 TEL.6681-8648 FAX.6681-0058	富士精版印刷(株) 淀川区西宮原 2-4-33 TEL.6394-1181 FAX.6394-1199	(株)ケーエスアイ 西成区南津守 7-15-16 TEL.6652-8000 FAX.6652-8894	白石封筒工業(株) 東大阪市高井田中 4-1-22 TEL.6789-0018 FAX.6789-0028
キハラ工芸(株) 中央区内淡路町 2-1-10 TEL.6943-7955 FAX.6943-7958	ウエノ(株) 淀川区西中島 7-4-17 TEL.6301-1555 FAX.6301-1557	(株)一心社 天王寺区大道 1-14-15 TEL.6771-1121 FAX.6772-6970	サン美術印刷(株) 東成区東今里 2-15-30 TEL.6976-0231 FAX.6978-2807
(株)美生社 西成区出城 1-7-4 TEL.6647-8555 FAX.6647-3176	カキモト化工(株) 門真市月出町 9-10 TEL.6901-3821 FAX.6905-9248	レスター工業(株) 中央区糸屋町 2-3-2 TEL.6941-8572 FAX.6941-0781	大興印刷(株) 大阪府港区弁天1丁目2番1号 大阪ベイタワーオフィス16階 TEL.6577-2205 FAX.6577-2207 神戸ポートアイランド工場 神戸市中央区港島南町 4-6-3 TEL.078-303-3660 FAX.078-303-3669
(株)フリーテック 天王寺区寺田町 1-3-8 TEL.6772-3300 FAX.6772-6424	マツモト(株) 中央区上町 1-15-36 TEL.6762-9151 FAX.6762-7292	(株)NPCコーポレーション 北区天満 1-9-19 TEL.6351-7271 FAX.6352-7479	岩岡印刷(株) 住之江区中加賀屋 4-2-10 TEL.6685-5221 FAX.6685-5634
内外インキ製造(株) 福島区海老江 8-10-1 TEL.6458-1161 FAX.6458-3808	NIKKO 日広株式会社 八尾市若林町2丁目127番地 TEL:072-948-1151(代)	昌和(株) 平野区瓜破南 2-4-138 TEL.6707-1051 FAX.6790-4072	寿印刷(株) 西淀川区歌島 1-4-4 TEL.6471-3434 FAX.6472-9840
青葉印刷(株) 都島区中野町 2-10-11 TEL.6351-5428 FAX.6351-5299			

たゆまぬ研究と品質管理で
高品質な製品をお届けします

高性能UVE印刷用インキローラー
アバントUVシリーズ

ゴムローラーのインキ転移性とゴム劣化性を従来品より大幅に改善することにより、高品質な印刷物が安定して得られます。また長期間使用できますのでコスト削減も可能です。

株式会社 加賀ローラー製作所
本社 / 大阪市生野区中川5-3-13 TEL(06)6751-1121
URL <http://www.katsura-roller.co.jp>

NEW パワーゾール NH40 最新の洗浄成分の配合により、従来の
消法非該当洗浄剤に比べて溶解力
を大幅に向上しました。(当社比)

★消法非該当★
★有機則非該当★
★PRTR 法非該当★

2 超低臭で部材にやさしく、適度な乾燥
性で自動洗浄にも適しています。
3 消法非該当により危険物倉庫での
保管は不要です。

NEW 色替え及び仕上洗浄剤
GLAZE CLEANER グレーズクリーナー

▶色替え洗浄に最適なグレーズ除去液▶特殊乳化剤の効果で処理後の洗浄が簡単
▶ローラーを停止しなくても使用できる高粘度液体
▶軟質微粒子とエマルジョンでグレーズを強力に除去

お問い合わせは **ウエノ株式会社** 製造元
TEL: 06-6301-1555 上野化学工業株式会社

無料! 各種相談のご案内

大阪印刷会館にて開催

予約制 オンライン (Zoom対応) もOK

お申し込み・お問い合わせ
大印工組事務局

TEL.06-6353-3035
info@osaka-pia.or.jp

◎労務相談(10:00~12:00, 13:00~16:00)
50分/1人、先着5名/各開催日
申込締切:開催日の1週間前

◎税務・法律相談(13:00~17:00)
60分/1人、先着4名/各開催日
申込締切:開催日の2日前

労務
相談

労務顧問の中尾文彦先生にご相談ください。

4/6(木)、4/28(金)、5/12(金)
【ストレスチェックについて】【残業時間】【就業規則】等

税務
相談

税務顧問の森田昌宏先生にご相談ください。

4/14(金)、5/12(金)、6/2(金)
【消費税】【税金】等

法律
相談

法律顧問の河端直先生にご相談ください。

4/12(水)、5/24(水)、6/21(水)
【著作権】【著作権】【事業承継・廃業支援】等

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により開催を中止させていただく場合があります。

貴社のDMを同封、 組合員企業に届けます!

大印工組 広報誌

●PRI・Oの「パケットサービス」

1点 20gまで @100円 × 組合員数 → **税込約50,000円**
21~100g @200円 101~200g @300円

大印工組
事務局へ
お申し込み

発送月の
前月25日までに
貴社DMを
事務局へ納入

貴社DMを
PRI・Oに同封

毎月5日ごろ
貴社DMが
組合員企業に到着
※到着日は前後する場合があります。

〈納入規定〉
A4サイズ以下 + 1点 200g以内
※複数枚のDMであってもホチキス止め
などしてあれば、1点とみなします。
※内容等によっては、お受けできない場合
があります。

お問い合わせ先 大印工組 事務局 TEL.06-6353-3035

PRINTING OF OSAKA 組合員[約400社]や外部に向けて自社の魅力をアピール!

PRI・Oに広告を出しませんか?

随時受付中

06-6353-3035

大阪府印刷工業組合 担当:大喜多まで

今月号の
用紙

表紙 **アイベスト W**
厚み260g/m²(菊判15.5kg)

本文 **シルバードイヤS**
(塗工紙・104.7g/m² A/Y(57.5))

ピュアな白さと光沢、なめらかな肌合いが特長の両面コートアイボリーの定番です。
※今月号のみ、箔押しするため用紙を変更しています。

当社A2マットコート紙の関西以西限定銘柄です。伝統技術と長年の経験を継承し、お客様の声を取り入れながら造り上げた、西日本で最も品質に定評のあるマットコート紙です。

用紙提供:日本製紙(株) 関西営業支社 印刷用紙グループ TEL.06-6363-7184

デザイン・制作:(有)ティーズ/印刷:(株)ハラタ

FUJIFILM
Value from Innovation

完全無処理300%*増。

富士フィルムの完全無処理CTPをテストした95%*が
切り替えを決定し、続々と導入が進んでいます。

しかし、さまざまな理由で導入に至らなかったお客さまが5%いらっしゃることも、また事実。
富士フィルムでは、この課題を真摯に受け止め、さらなるサポート体制の強化に取り組んでいきます。

※当社比較および調べ

NEVER
STOP

完全無処理の時代は、富士フィルムがつくる。

SUPERIA 完全無処理CTPプレート

■完全無処理プレートを導入されたお客さまの声をご紹介しています。

FFGS 無処理



富士フィルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

FUJIFILM
Value from Innovation

Revoria™

Revoria™ (レヴォリア)は

富士フィルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

わたしたち富士フィルムビジネスイノベーションは、
皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、
富士フィルムグループの一員として
真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。

富士フィルム ビジネス イノベーション株式会社 <http://fujifilm.com/fb>

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL:03-6271-5111 (代表)

FUJIFILM および FUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria, Revoria ロゴ, Revoria Press, Revoria Flow, および Revoria One は富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。